

2019 年 12 月 19 日

【国際理解教育】 外務省高校講座を実施しました。

外務省北米局北米第一課より、外務事務官 川瀬 晃平さんが「外務省高校講座」の講師として2 学年生徒（4 1 期）に向けて、外務省職員の仕事とはどのようなものか、外交を円滑に進めるための裏方としての仕事、なぜ外務省を目指したか、など興味深い講演をしてくださいました。普段何気なくニュースを見ているだけではわからない、貴重なお話を沢山聞くことができ、外務省、外交官、外交などについて興味を深めた生徒が多かった様子です。

《生徒の声》

- ・川瀬さんのお話は、私たちと年が近いこともあり、親しみを持てた。
- ・最も印象に残ったのは、「誰ひとりとして取り残さない」という言葉でした。
- ・自分でやりたいことを企画にして実際行うことが、凄いと思った。企画のために交渉しなくてはならないし、試行錯誤し、考える。大変だと思った。
- ・私は外交官の仕事に少し興味を持っていたので今回の講座を受けることができてよかった。
- ・深く考えすぎずに様々なことに挑戦し、自分の経験値を上げ、価値観を育てようと思った。
- ・平和や、人と人（国と国）をつなぐ役割を担っているのだと思った。
- ・今日の講演から、自分も進路について向き合わないといけないと思えた。

川瀬さん、本日はありがとうございました！

